

會 告

來十二月六日(土曜日)午後一時三十分より女子高等師範
學校附屬幼稚園に於て本會常會相開くべく候間御総合
せ御知友御誘引御出席下され度候。

舉行事項

會員 檜山榮次君

一、演 說

一、談 話

一、遊 嬉、唱 歌

◎會長

禁中有識故實及
御厨子所預之家

高橋九一吉君

會員 料 理 講 義 錄

號六第期前
既 刊

◎教授主任

割烹學校
創立者

石井泰次郎

『詳細規則入用の方は二錢郵券添御申込あれ』

東京市京橋區鈴木町十一番地

大日本割烹學會

私立婦人衛生員會募集

會員募集の趣意

衛生の源は家庭にあり家庭を司るものは婦人なり、故に家庭の衛生は婦人の研究すべき所なり、本會は全國婦人の間に衛生の必要を自覺せしめ衛生をして實行的のものたらしめ以て家庭の健康を増進し國家に酬ゆる所あらむとす今回其規謨を擴張し機關雑誌を改良し大に會員を募り遍ねく幸福を頒たむとす同好の諸姉は入會手續によりて至急御申込あれ

明治二十年創立（本會支會新潟外五ヶ所）

總裁 小松若宮依仁親王妃周子殿下

會長 候爵夫人 鍋島榮子 副會長 濱尾作子

幹事 島山春子 羽田三緒子 穂積歌子 岡田徳子 高木かう子

機關雜誌 婦人衛生雜誌（毎月十五日一回發行）（無料を以て會員に頒つ）

主筆醫學士久保猪之吉 補助醫學士米山彥郎外數名

編輯田中徳三郎 講師及贊成員博士學士等百數十名

目錄 講演 朝野名醫大家の所説・寄書・各支會講演・衛生雜話・質疑應答・看病法・衛生時事・抄錄・衛生訓・救急處置・内外實用料理法・中外彙報・會況・會報等

入會手續 入會の節は住所氏名及會員の別（通常、特別、終身）等を明記し三ヶ月以上の會費前納小爲替を以て東京市牛込郵便局振出にて申込るべし但會費は通常會員一ヶ月十五錢特別三十錢以上終身一時出金廿五圓とす男子にして本會の趣意を贊成するものは贊成員とす會費前に同じ

集會 本會は毎月集會を開き衛生の講演を會員及其同伴人に聽講せしむ

東京市牛込區
矢來町三番地

立 大日本婦人衛生會

フレーベル會規則

會員募集!!!

- 第一條 本會ハ幼兒保育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハフレーベル會ト稱シ東京ニ置ク
第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒保育
二篤志ナルモノニシテ會員ノ紹介ヲ經ベシ
- 第四條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ヶ月金拾錢ヲ餽出スベシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルモノハ
特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 本會ノ目的ヲ達セんガ爲ニ左ノ事業ヲ行フ
- 一 總會 每年四月二十一日之ヲ開キ保育ニ關スル演説、談話、保
育參考品、幼兒成績物、展覽會、會務ノ報告、幹事ノ選舉等ヲナス
會日ハ會長ノ意見ニヨリ之ヲ變更スルコトアルベシ
- 一 常會 每年二月、六月、十月、十二月ノ第一土曜日之ヲ開キ保
育ニ關スル演説、談話、協議、實驗等ヲナス
- 一 納合會 會員中特ニ或ル事項ヲ研究セントスル者ヲ以テ組織ス
但シ別ニ組合會規約ヲ定メテ會長ノ承認ヲ經ルモノトス
- 一 雜誌發行 每月一回雜誌ヲ刊行シ之ヲ會員ニ配布ス
- 一 前項ノ外本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 主會長 一人 會務ヲ總理ス
幹事長 一人 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
幹事 十人 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
評議員 若干人 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第八條 會長ハ客員中ヨリ推屬スルモノトス
- 第九條 主幹ハ會長ノ特選トス
- 第十條 幹事ハ會員ノ互選トシ其任期ヲ二ヶ年トス
但シ毎年半數ヲ改選スルモノトス
- 第十一條 評議員ハ會長ノ特選トス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コト
アルベシ
- 第十三條 此規則ハ會員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更
スルコトヲ得ス

本誌號を重ねるに從ひ、漸次体裁内容を
擴張せんとす。諸君諸姊、乞ふ本會の趣旨
を贊助せられ、此際奮つて御入會あらん
ことを。

一、會員の知己を有せらるゝ方は、右
會員の紹介によりて本會に申し込ま
るべし。

一、會員の知己なき方は、會費前納と
共に直接本會に申し込まるべし。
一、會員はなるべく入會者を御紹介あ
らんことを望む。

明治卅五年十月五日

東京本郷區湯島女子高等
師範學校附屬幼稚園内

フレーベル會

(號壹拾第卷二第もど子と人婦)
(行發日五同一月毎) 行發日五月一十年五十三治明

及教授上一の問然する所なき未曾有の最良教科書と云ふも決して誣言にあらざるべし



新
刊

唱歌教科書

第一卷定價金三十錢
第二卷定價金三十錢
第三卷定價金三十錢
第四卷定價金三十錢

吉山信太編

全壹冊 定價金四拾五錢
郵稅金六錢

東
竹

唱歌教科書

教師用全四冊
第一卷定價金三十錢
第二卷定價金三十錢
第三卷定價金三十錢
第四卷定價金三十錢
第一卷定價金十五錢
第二卷定價金十五錢

吉山信太編
方

舞

全壹冊 定價金四拾五錢
郵稅金六錢

東市京東
十町川竹

書は女子高
及樂譜を記

太編

全書冊 定價金四拾五錢
郵稅金六分錢

書は斯道の實驗家なる山田春耕先生も解し易き様説明せられたるものなり

全一冊定價金貳拾五錢
郵稅金六錢

國樂書院

集 第一編 定價金拾貳錢 第二編 近刊
郵稅金四錢 等國の國歌を載せ、又各國語の接音をも併記

洋語の通せるものなり

金參百圓以上
貳千圓迄各種
鈴木製金五圓以上五拾圓迄各種

太鼓金貳拾圓以上
リトン、テナード

樂器 舶來品 八圓以上百五拾圓迄 各種

上
百
六
拾
圓
迄

樂器 太鼓金拾圓以上 橫笛金壹圓以上
琴 金二圓五拾錢以上參十圓迄 各種
○學校用一組拾三圓

三、附 保險 山葉 風

風琴 定價金十六圓五十錢以上
音樂附器品各種

ピアノ
オルガン 調
目

錄修呈

明治三十四年二月六日、内務省許可。明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可。